

 評価のポイント

CL- I .ニーズを捉える力（精神科）

[12-1] 事例で学ぶ統合失調症の看護～病期に応じた関わり～

幻聴や妄想を持っている患者さんへの関わり方のポイントはなんですか。

今回の動画の内容だけにとどまらず、自由に考えてみましょう。

- 幻聴や妄想は、原則的に否定も肯定もしない。
- 事実として肯定はしないが、幻聴や妄想から生じる辛さ・苦痛などの感情について、共感を示す。
- 幻聴や妄想から来る具体的な困りごとに焦点を当てて支援を提供する。
- 現実的な会話をもち、幻聴や妄想の世界ではなく、実生活に目を向けるようにする。